

問5 住んでいる地域はどちらですか。

(地区名が分からない方は、「20 不明」の欄に大字名または町内名を記入してください)

- | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|--------|---------|
| 1 三八城地区 | 2 柏崎地区 | 3 吹上地区 | 4 長者地区 | 5 小中野地区 |
| 6 江陽地区 | 7 湊地区 | 8 白銀地区 | 9 鮫地区 | 10 根城地区 |
| 11 上長地区 | 12 是川地区 | 13 市川地区 | 14 館地区 | 15 豊崎地区 |
| 16 大館地区 | 17 下長地区 | 18 南浜地区 | 19 南郷区 | |
| 20 不明 (大字名・町内名を書いてください) | | | | |

問6 ~~失礼ですが~~、あなたは結婚していらっしゃいますか。

- | | | |
|----------|------------------------|-----------|
| 1 結婚している | 2 結婚していないがパートナーと暮らしている | 3 離別 |
| 4 死別 | 5 未婚 | 6 その他 () |

問7 あなたのご家庭は、次のどれですか。

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1 1人世帯 | 2 1世代世帯 (夫婦のみ) | 3 2世代世帯 (親と子) |
| 4 3世代世帯 (親と子と孫) | 5 その他 () | |

それでは、男女共同参画に関する意識調査を行います。

男女の地位に関する意識についてお聞きします

問8 あなたは次の分野で男女は一般的に平等になっていると思いますか。それぞれあてはまるところ 1つに○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
家庭生活						
職場						
学校教育の場						
政治の場						
法律や制度の上						
社会通念・慣習・しきたりなど						
地域活動の場(町内会やPTA)						

問9 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。あてはまる番号 1? ? に○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------------|-----------------|
| 1 同感する | 2 どちらかといえば同感する | 3 どちらかといえば同感しない |
| 4 同感しない | | |

問9-1 問9で「同感する」または「どちらかといえば同感する」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男性は外の仕事、女性は家事・育児・介護に向いている
2. 家族を養うのは男の責任で、子育てや夫・両親の世話は女の責任
3. 妻が仕事に出ると家庭が円滑に行かなくなる
4. 自分の両親がそのようにしていた
5. その他 ()

問9-2 問9で「同感しない」または「どちらかといえば同感しない」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 経済的自立のために、男女とも仕事をもつ方がよい
2. 家事・育児・介護は男女が協力してやるべき
3. 仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよい
4. 妻も個性・能力を生かしながら社会参加できる
5. その他 ()

働くことについてお聞きします

問10 働いている方にお聞きします。あなたの職場では仕事の内容や待遇の面で、次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 女性が昇進、昇格しづらい
2. 賃金に男女差がある
3. 性別を重視し、能力を正當に評価しない
4. 性別により配置場所が限られている
5. 女性には教育・研修を受ける機会が少ない
6. 女性を幹部職員に登用しない
7. 女性は結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある
8. 女性は補助的な仕事しかさせてもらえない
9. 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
10. 育児休業後には地元以外に転勤させられる
11. その他 ()

問11 一般的に女性が仕事を続けることについて、あなたはどうかお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 女性は仕事をもたない方がよい
2. 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい
5. 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
6. わからない
7. その他 ()

補足：「育児休業を取得して休業中である場合」は、仕事をやめたことにはなりませんので「4. 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」に該当します。

問12 結婚や出産、子育てなどが元で仕事を続けたくても続けられないという状況がまだ多くあるといわれています。女性が仕事を続けるためには、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 就職支援や就職情報の提供の充実
2. 再就職のための講座やセミナーの充実
3. 女性の働く職種や仕事の範囲の拡大
4. 女性への仕事に対する意識の啓発
5. 女性の起業家支援
6. 保育・介護施設やサービスの充実
7. 育児・介護休業制度の啓発・推進（短時間勤務、労働時間の短縮、休業中の生活資金の貸付など）
8. 上司や同僚の理解と協力
9. 家族の協力と理解
10. 苦情処理相談窓口の充実
11. その他（)

家庭生活等に関することについてお聞きします

問13 あなたは家事をどの程度していますか。それぞれあてはまるところ1つに○をつけてください。

	している	どちらかといえば している	どちらかといえば していない	していない
日常の家計管理				
食事の支度				
食事の後片付け				
食料品・日用品の買い物				
掃除				
ふろ・トイレ掃除				
洗濯				
ごみ出し				
子どもや <u>孫</u> の世話				
<u>介護</u>				
その他（)				

問 14 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」についてお聞きします。

この設問における用語の解釈は、以下を参考にしてください。

「家庭生活」：家族と過ごすこと、家事、育児、介護など

「地域・個人の生活」：地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、つきあいなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど

(1) あなたの希望に最も近いもの 1つに○ をつけてください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない
9. その他 ()

(2) あなたの現状に最も近いもの 1つに○ をつけてください。

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない
9. その他 ()

問 15 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号 すべてに○ をつけてください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
11. 仕事中心の生き方や考え方を改める
12. 特に必要なことはない
13. その他 ()

問 16 あなたが介護を受けなければならなくなったとき、だれに介護を頼みたいですか。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. 配偶者・同居しているパートナー
2. 娘
3. 息子
4. 娘の夫
5. 息子の妻
6. その他の家族
7. 家族とホームヘルパーなどの福祉サービス
8. 老人ホーム・病院などの介護施設
9. 分からない
10. その他 ()

教育の分野についてお聞きします

問 17 これからの社会で男女平等の人間関係を作っていくために、教育の分野ではどんなことに力を入れたいと思いますか。あてはまる番号 3つまでに○ をつけてください。

1. 男女平等の意識を育てる授業をする
2. 生活・進路指導の際に性別で判断するのではなく個性や能力を生かすよう配慮する
3. 男女混合名簿の導入など男女を分ける習慣を見直す
4. 教職員への意識啓発講座を実施する
5. 校長や教頭に女性を増やす
6. 教材に登場する人物の性別による役割を固定的に受け取らないよう配慮する
7. その他 ()

問 18 あなたの子どもの大学への進路について、あなたはどうかお考えですか。それぞれあてはまるところ 1つに○ をつけてください。子どもがいない方はいと仮定してお答えください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	思わない
男の子は進学し、女の子は進学せずに就職・結婚し家庭に入る方がよい				
女の子は進学し、男の子は進学せずに就職する方がよい				
男女ともに大学まで進学する方がよい				
男の子が看護や保育の分野に進むのは好ましくない				
女の子が土木や理工系の分野に進むのは好ましくない				
男女ともに本人の意思を尊重し希望する分野に進めばよい				
その他 ()				

地域活動への参加についてお聞きします

問 19 あなたはボランティア活動、各種サークル、各種団体などの社会活動に参加していますか。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. 参加している（どんな活動ですか： _____）
2. 以前は参加していたが、今は参加していない
3. 今後参加したい
4. 関心がない
5. その他（ _____）

問 20 多くの人たちの社会参加を進めるためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号 3つまでに○ をつけてください。

1. 啓発活動に力を入れる
2. 学習の機会を増やす
3. 情報を得られる場所・方法を増やす
4. 家庭で社会参加の必要性を話し合う
5. 学校で社会参加の重要性を教える
6. 家事や育児を家庭内で分担し合い、参加できる時間をつくる
7. 仕事や家事と社会参加の両立を支援する体制の整備を図る
8. 労働時間を減らし、参加できる時間を増やす
9. その他（ _____）

問 21 もし、あなたが町内会の役員、PTAなどの会長として推薦されたらどうしますか。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. 推薦に応じる
2. 推薦に応じない
3. 分からない

問 21-1 問 21 で「推薦に応じる」を選んだ方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. 地域活動に貢献したい（人の役に立ちたい、社会参画したい等）
2. 時間に余裕がある
3. 順番でやることになっている
4. 責任のある地位につくのが好き
5. その他（ _____）

問 21-2 問 21 で「推薦に応じない」を選んだ方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. 自信がない
2. 仕事がある ため時間に余裕がない
3. 家庭がある ため時間に余裕がない
4. 責任のある地位につくのはわずらわしい
5. その他（ _____）

政策決定過程への参画についてお聞きします

問 22 議会や審議会など、政策や方針を決定する過程への女性参加についてお聞きします。

戸市の場合、市議会議員の中で女性議員の数は●●人中●人(▲%)、審議会等での女性委員の数は●●人中●人(▲%)となっています。(平成22年●月▲日現在)この状況をあなたはどのように思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現状のままでよい
2. 現状より女性議員・委員が少し増えた方がよい
3. 男女半々くらいまで増えた方がよい
4. 男性議員・委員を上回るほど女性議員・委員が増えた方がよい
5. 男性議員・委員の数が今より増えた方がよい
6. わからない
7. その他()

問 23 あなたは政策・方針決定の場(国・都道府県・市町村議会や審議会等)に女性が増えると思うようになりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 政治が身近になる
2. 議論の方向に変化が生じる
3. 行政に対しての要望がきめ細かくなる
4. 変わらない
5. わからない
6. その他()

少子化についてお聞きします

問 24 出生率の低下や少子化の原因は何だと思えますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 子どもを少なく産んで、十分に手をかけて育てたいという人が増えた
2. 育児・教育費の経済的負担が大きい
3. 男性の理解・協力が足りず、育児に対する女性の精神的・肉体的負担が大きい
4. 子育てを支援する施設や制度が十分でない
5. 子どもよりも夫婦を中心に考える人が増えた
6. 子どもより余暇の充実が大切だと考える人が増えた
7. 子どもより仕事大切だと考える人が増えた
8. 結婚を希望しない人が増えた
9. 女性の晩婚化
10. 男性の未婚化
11. 女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した
12. ワーキングプアなどで収入がない
13. 子育てに自信がない
14. その他()

問 25 「結婚している」、「結婚していないがパートナーと暮らしている」、「離別」、「死別」に該当する方にお聞きします。結婚して自分の生活がどう変わったと思いますか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 一人前の人間として扱われるようになった
2. 経済的に余裕ができた
3. 暮らしに張り合いができた
4. 知り合いが増えて世界が広がった
5. 仕事がしやすくなった
6. 安心感が得られた
7. やりたいことの実現が制約される
8. 自由に使えるお金が減った
9. 自由になる時間が減った
10. 親戚との付き合いが増えてわずらわしい
11. 仕事がしにくくなった
12. 配偶者への配慮がわずらわしい
13. 変わらない
14. その他 ()

国の制度改正についてお聞きします

問 26 当人たちが希望する場合には夫婦がそれぞれの姓を名乗ることができる 選択的夫婦別氏制度の導入が望ましいとの考えが示されていますが、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 1 賛成
- 2 どちらかという賛成
- 3 どちらかという反対
- 4 反対
- 5 分からない

問 27 専業主婦がいる世帯には所得税や国民年金保険料などに一定の優遇制度があります。これらの制度は、「男性は仕事に、女性は家庭へ」という性別役割分担を助長し、専業主婦が外で働くことを控えさせる要因となる、または働いている人との公平さに欠けるとして廃止すべきとの意見がありますが、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 1 賛成
- 2 どちらかという賛成
- 3 どちらかという反対
- 4 反対
- 5 分からない
- 6 その他 ()

異性に対する暴力等についてお聞きします

この設問における用語の解釈は、以下を参考にしてください。

「配偶者」: 婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者(離別・死別した相手、事実婚を解消した相手)も含まれます

問 28 あなたは 男女間における暴力について見聞きしたことがありますか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. テレビや新聞などで知っている
2. 身近に当事者はいないが、うわさを耳にした
3. 身近な人から被害に関する相談を受けた
4. 身近に暴力を受けた当事者がいる

5. 自分が直接経験した
6. 聞きしたことはない
7. その他 ()

問 29 あなたは異性(配偶者や恋人)から次のようなことをされたことがありますか。それぞれあてはまるところ1つに○をつけてください。

	何度もあった	1～2度あった	まったくない
医師の治療を必要とする程度の暴行を受けた			
医師の治療を必要としない程度の暴行を受けた			
<u>なぐるふりをして脅された</u>			
何を言っても無視され続けた			
交友関係や電話、郵便物を細かく監視された			
「だれのおかげで生活できる」とか「かいしょうなし」などとなじられた			
<u>生活費を渡されなかった</u>			
<u>金銭の使途について細かくチェックされた</u>			
恐怖感を抱くほど大声でどなられた			
見たくないのにポルノビデオや雑誌を見せられた			
嫌がっているのに性的行為を強要された			
避妊に協力 <u>してくれ</u> なかった			

問 29-1 問 29 で1つでも「あった」と答えた方にお聞きします。その時だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

- 1 相談した
- 2 相談したかったができなかった
- 3 相談しようと思わなかった
- 4 その他 ()

問 30 あなたはこれまでに身近なところ(学校、職場、地域活動、家庭)で次のような性的な言動や行為で不快な思いをしたことがありますか。あてはまる番号 すべてに○ をつけてください。

1. 立場や地位を利用しての性的関係の強要
2. 身体にふれる
3. 立場や地位を利用しての交際を強要
4. 卑猥な言葉や猥談
5. 身体的特徴(容姿・体型など)を話題にする
6. ヌード・ポルノ写真付きの雑誌、ポスター、カレンダー等を見せる
7. 性的な内容の電話・手紙・電子メールの送信
8. 性的なうわさを流す
9. 「女にはまかせられない」「男のくせに根性がない」などの発言
10. 男性または女性であるとの理由でお茶くみや掃除、私用などを強要
11. その他 ()

問 31 男女間における暴力や性的嫌がらせ(セクシュアル・ハラスメント)、性的犯罪などへの対策として、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまる番号 3つまでに○ をつけてください。

1. 相談できる機関のPR
2. 相談機関の連携体制の強化
3. 被害者の避難施設の整備

4. 被害者への金銭的援助（緊急時の生活費など）
5. 警察の積極的な介入
6. 加害者への暴力再発防止のためのカウンセリング
7. 加害者への罰則の強化
8. 「配偶者からの暴力は犯罪である」という意識啓発
9. 性の商品化や過激な暴力表現などのメディア倫理規定の強化
10. メディアを活用して広報・啓発活動を積極的に行う
11. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）の取り締まりの強化
12. 学校や家庭での男女平等や性の教育の充実
13. 被害者に対する自立のための精神ケア
14. その他（)

男女共同参画社会の形成に関する意識についてお聞きします

問 32 あなたは次の言葉を知っていますか。それぞれあてはまるところ 1 つに○をつけてください。

	知っている	聞いたことがある	知らない
八戸市男女共同参画基本条例			
八戸市男女共同参画都市宣言			
男女共同参画社会			
ジェンダー（社会的・ <u>文化的</u> 性別）			
ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和）			
ポジティブ・アクション （積極的 <u>格差</u> 改善措置）			
女子差別撤廃条約			
男女雇用機会均等法			

問 33 男女共同参画社会実現のために、今後、八戸市ほどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 情報提供や交流の場、相談、研修などを行う総合センターの建設
2. 政策・方針決定の場（各種審議会等）への女性の積極的登用
3. 情報の提供や学習機会の充実
4. 学校での男女平等教育の推進
5. 女性のための職業教育・職業訓練の実施
6. 事業所への育児・介護休業制度の積極的な取り組みの啓発
7. 労働の場における男女平等意識の啓発
8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など働き方の見直しの啓発
9. 高齢者・障がい者への福祉サービスの充実
10. 育児・保育施設の充実
11. 男性を対象とした料理・家事教室の充実
12. 健康管理（健診体制・相談など）に対する支援や体制の充実
13. 女性相談など相談事業の充実
14. 人権の侵害（女性への暴力、セクシュアル・ハラスメントなど）防止の啓発
15. 各種団体の女性リーダーの養成
16. その他（)

問 34 男女共同参画社会実現のために、八戸市は次のことに力を入れていきますが、あなたが力を入れるべきだと思う番号すべてに○をつけてください。

1. 政策・方針決定過程の場への多様な参画の促進
2. 男女平等のための意識啓発
3. 再就職や働き方の工夫などチャレンジする意欲への支援
4. 社会制度・慣行の見直しのすすめ
5. 男女従業員の機会均等・待遇平等と能力発揮の支援
6. 多様でかつ柔軟な働き方の選択肢の拡大
7. 仕事と育児・介護の両立のための労働環境の整備
8. 家庭における男女間の家事協力などの促進
9. 子育てしやすい環境の整備
10. 高齢者・障がい者・外国人が安心して暮らせる環境の整備
11. 地域活動やボランティア活動の促進
12. ドメスティック・バイオレンスなど男女間での暴力的行為の防止
13. 男女ともに生涯を通じての健康管理に対する支援
14. 男女とも多様な選択を可能にする教育・学習への支援
15. その他 ()

問 35 男女共同参画について、ご意見、ご要望などありましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。